

第23回大会を終えて

早春の候 皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍の中、日々の学校生活にも制約が多く、大変お忙しい毎日ではないかと推察します。くれぐれもご自愛ください。

さて、去る2月20日(土)日本生活中心教育研究会第23回大会が開催されました。緊急事態宣言期間中でもあり、Zoomを活用したオンライン開催になりました。申し込みの準備から、当日の運用まで新事務局長の高倉先生には最大限のご尽力を頂きました。当日、小さなトラブルこそありましたが、参加された先生方の温かなご理解とご協力もあり何とか開催することができました。ありがとうございました。

当日は、特別支援学級を代表して、向野紀子先生(千葉県船橋市立高根台第三小学校)による単元『もっこうやさんになろう』の発表で幕開けしました。「早くやろう」と待ちきれない子どもたちの生活を包括するテーマ性と補助具等により一人一人のできる状況づくりを徹底する個別化を備えた力のこもった発表でした。

特別支援学校からは赤間樹先生(千葉県立印旛特別支援学校)による単元『めざせ！アウトドアの達人』の発表がありました。これまでありそうでなかった大学生との本格的な交流という新奇性の高い会心の実践でした。「社会に開かれた教育課程」という観点からも、今後さらに追究していきたいと感じさせられました。

そして、今回は太田俊己先生(関東学院大学教授・元本研究会会長)にご講演を頂きました。我が国の知的障害教育を長く牽引されてきた先生ですが、本当に残念なのですが、この3月末に退官されます。「テーマのある学校生活の再出発」と題して、この教育の魅力・醍醐味とその意義をご講話頂きました。本当にありがとうございました。

また、同じく3月末には生活中心教育と本研究会の事務局を長く支えて頂きました山本邦晴先生(植草学園短期大学教授・前本研究会副会長)、田所明房先生(植草学園大学教授・現本研究会事務局長)も退官されます。本当にありがとうございました。

3人の先生方には引き続き大所高所からのご指導を心からお願いする次第です。

なお、今回は役員の改選もありました。同封の総会資料にてご確認頂ければ幸いです。弱輩な私が会長ですので、新たに役員になられた先生方、そして、会員の先生方には、本研究と知的障害教育の発展のために、引き続き、お力添えを頂きたく、お願いする次第です。来年度の研究会は2022年2月19日(土)に決定しました。コロナ禍が落ち着けば、対面の研修会と合わせて、遠方の先生方でもオンラインで参加できるようなスタイルにできればと考えています。お目にかかるのを楽しみにしております。

日本生活中心教育研究会
会長 佐藤 慎二